

事務事業名	2歳児歯科検診事業				担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8121
施策名	6	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成3 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（            年度～            年度）
法令根拠	母子保健法					
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費		
事業概要	月齢が進むにつれ、むし歯罹患率が高くなっており、特に、2歳から3歳、3歳から4歳おいての増加が目立つ。永久歯の生える時期は、保護者が口腔衛生の大切さを認識し、継続したむし歯予防に取り組む動機付けに効果的な時期である。むし歯予防の発生には、生活リズムや生活習慣の乱れが大きく関連していることにより、検診・ブラッシング指導・生活指導をしている。検診会場：総合福祉保健センター、年12回実施（毎月1回実施）内容：(1)ブラッシング個別指導、(2)歯科検診と歯科相談、(3)問診・保健指導・育児相談					

① 手段（主な活動） 22年度実績 2歳児歯科対象者に個別通知 年12回実施 対象年齢時に毎月、保健センターにおいて、2歳児に対するブラッシング個別指導・歯科検診・歯科相談・栄養指導・栄養相談・保健指導  23年度計画 平成22年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 2歳児健診受診者	人	600	584	643	660	669
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 2歳児、2歳児の保護者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 2歳児数	人	669	672	743	773	809
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・乳歯や永久歯のむし歯等の予防の必要性を理解し、ブラッシングの習慣を身につける。また、むし歯の早期発見や早期治療をする。・食生活の影響の大きさを再確認し、食リズムの確立も同時にはかっていく。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 受診者の割合（受診者数/2歳児数）	%	89.6	86.9	86.5	85.4	86.0
	イ う歯保有者数	人	39	56	43	39	38
	ウ						
	エ						
	オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 健康な状態で生涯暮らしてもらう	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 要治療に結びついた人の割合	%	97.4	98.2	97.7	94.9	100
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移				単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	843	840	1,249	2,446	0
		事業費計 (A)		千円	843	840	1,249	2,446	0
	人件費		正規職員従事人数	人	5	2	5	5	0
			延べ業務時間	時間	300	328	300	460	0
			人件費計 (B)	千円	1,257	1,370	1,217	1,963	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,100	2,210	2,466	4,409	0

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	1歳6か月健診と3歳児健診を比較すると、むし歯が増加している。むし歯の早期発見・早期治療に結びつけるため、母子保健法に基づき平成3年度より、実施することになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1 次評価の部      \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に基づき、実施しているので、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に基づき、実施してる。市民の健康づくり対策として必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 母子保健法に基づき、実施しており、対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 広報に掲載する他、対象者全員に個別通知している。また、未受診者には、電話勧奨も実施しており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 母子保健法に基づき、実施しているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 母子保健法に基づき実施している事業であり、削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の職員で対応しており、これ以上人件費を減らすことはできない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 該当者全員を対象としているため、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								